

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ずA3片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

NITS・教職大学院等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	実施機関名・連携機関名 ※実施機関名、及び連携機関名（ある場合のみ）を記載してください。 福井大学連合教職大学院 事業名： 福井大学連合教職大学院東京サテライト・ウランドテーブル 子供たちの Well-being を生み出す教師の探究 -つながる教育- 研修等名：【NITS・福井大学連合教職大学院コラボ研修】 「21世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う（東京）」 -「主体的・対話的で深い学び」を支える新しい教師の実践的力の在り方を探る- 開催日時：令和4年11月12日（土） 10：00～16：30 開催場所：オンライン開催（配信会場：東京都板橋区教育委員会） 参加人数（総数）と参加者の属性：（81人） 学校園教員 50人、大学教員 17人、教育行政 6人 民間企業 6人、海外 2人
--------------------------------------	---

内容： ※全体発表の内容をテブ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

本ラウンドテーブルでは、“つながり”をキーワードとして私たちの教育を見つめ直し、直面している教育課題を参加者同士がお互いに打ち明け、省察しながら、したいこと・すべきこと・できる ことについて学び合う教師の協働探究ラウンドテーブルを開催した。

2022年（令和4年）11月12日（土）10：00～16：30（Zoom オンライン開催）

本部：東京都板橋区教育支援センター 大研修室（6階）

第1部 シンポジウム

10:15～12:00 講演「一人ひとりの子どもを主語にする学校」

講師：荒瀬 克己（独立行政法人教職員支援機構 理事長）

第2部 実践発表

13:00～14:15 ・北海道北照高等学校 教諭 号刀悠貴

・沖縄県立八重山高等学校 教諭 比嘉小百合

・一般社団法人こゆ地域づくり推進機構 教育イノベーション推進専門官 中山 隆

第3部 ラウンドテーブル

14:30～16:00 ラウンドテーブル

16:00～16:20 シェアリング～終了

成果： アンケート、参加者の声より

- ・地域は違えど、ラウンドテーブルに参加するたびに、抱えている課題は共通していることが多いと感じる。その課題に対して、どんな実践をしているのか聞くことで、新しい発見や気づき、刺激にもなり、今後のモチベーションにも繋がっている。
- ・教育の最先端の「現場」と「研究」の両方の方々のお話を、オンラインながらも近い距離でお伺いする事ができたためとても刺激を受けました。特にラウンドテーブルでは、私自身教育現場の人間ではない中でも、疑問点などに対して皆さん実際の経験を含めて話していただき、大変有意義な時間となった。
- ・ラウンドテーブルのグループを校種、職種、年齢、経験などがバラバラに組まれていたことで、いろいろな話が聞けてよかった。
- ・非常に時間が足りないくらいに満足できた内容だった。さらに次回が楽しみである。
- ・沢山の学びを得ることができた。ラウンドテーブルの時間では、現場の先生方から直接お話を聞くことができた。このような経験は初めてで、本当に良い機会になった。学習者の目線ばかりで考えてしまうことが多かったですが、今日を通して別の視点に触れることができた。
- ・質の高いインプットの提供があった。また、ラウンドテーブルでアウトプットの機会もいただけた。

今回、Zoom オンライン開催にしたことで、北海道から沖縄離島までの全国の先生方に参加いただくことができた。また海外からの参加者があったこともオンラインならではのことである。次回は、ハイブリット開催を検討したい。

アイデアや工夫したこと：

- ・さまざまな教育活動、教職課題に話題の広がりが見られるように、「つながる」をキーワードにラウンドテーブルを開催したこと
- ・「つながる」を意識して、横（生徒—生徒、教師—教師）、縦（生徒—教師）、斜め（教師—保護者、教師—地域）の繋がりを大切に研修テーマを立てたこと。
- ・実践研究発表を敢えて異なった地域、北海道、本土、沖縄離島の方々を発表者としたこと。
- ・実践研究発表に教員だけではなく、民間企業 NPO 法人の方にも学校教育とのかかわり・つながりについて発表いただいたこと。
- ・ラウンドテーブル全てのグループに、専門家のファシリテーターがはいていたこと。

東京 S ラウンドテーブル

NITS・福井大学連合教職大学院コラボ研修
 福井大学連合教職大学院
 東京サテライト・ラウンドテーブル2022
 一人ひとりの子どもを
 主語にする学校



20221112
 独立行政法人教職員支援機構 荒瀬 克己

**“心からの笑顔”でつながる
 八重山高校郷土芸能部の取り組み**



沖縄県立八重山高等学校
 郷土芸能部
 教諭 比嘉小百理



NITS・福井大学連合教職大学院・コラボ研修
 福井大学連合教職大学院
 東京サテライト・ラウンドテーブル

**子どもたちの Well-Being を
 ～つながる教育～ 生み出す教師の探究**

2022年11月12日(土) 10:00-16:30
参加無料・zoomオンライン開催

第1部 講演会 荒瀬 克己
(独立行政法人教職員支援機構理事長)
 京都市立堀川高等学校長、京都市教育委員会教育企画課長、大谷大学文学部教授、山梨大学客員教授、関西国際大学大学院客員教授

第2部 実践発表

- <沖縄県> 沖縄県立八重山高等学校 教諭 比嘉 小百理
 「心からの笑顔”でつながる 八重山高校郷土芸能部の取り組み」
- <北海道> 北照高等学校 教諭 号刀 悠貴
 「高校生がワイン造り!? 変わりゆく学校」
- <宮崎県> 一般社団法人こゆ地域づくり推進機構
 教育イノベーション推進専門官 中山 隆
 「学校の外だからできる「つながる教育」
 -教育旅行という選択肢-」

第3部 ラウンドテーブル

申込〆切 11月5日(土)
各参加者の姓名、顔めがけていただくことがあります
 QRコードから参加申し込みください | <https://www.gakufu.or.jp/roundtable2022/>
 問合せ gdpr@nits.ac.jp



高校生がワイン造り!? 変わりゆく学校
 北照高等学校
 号刀 悠貴



学校の外だからできる「つながる教育」
 -教育旅行という選択肢-
 こゆ地域づくり推進機構 中山隆

